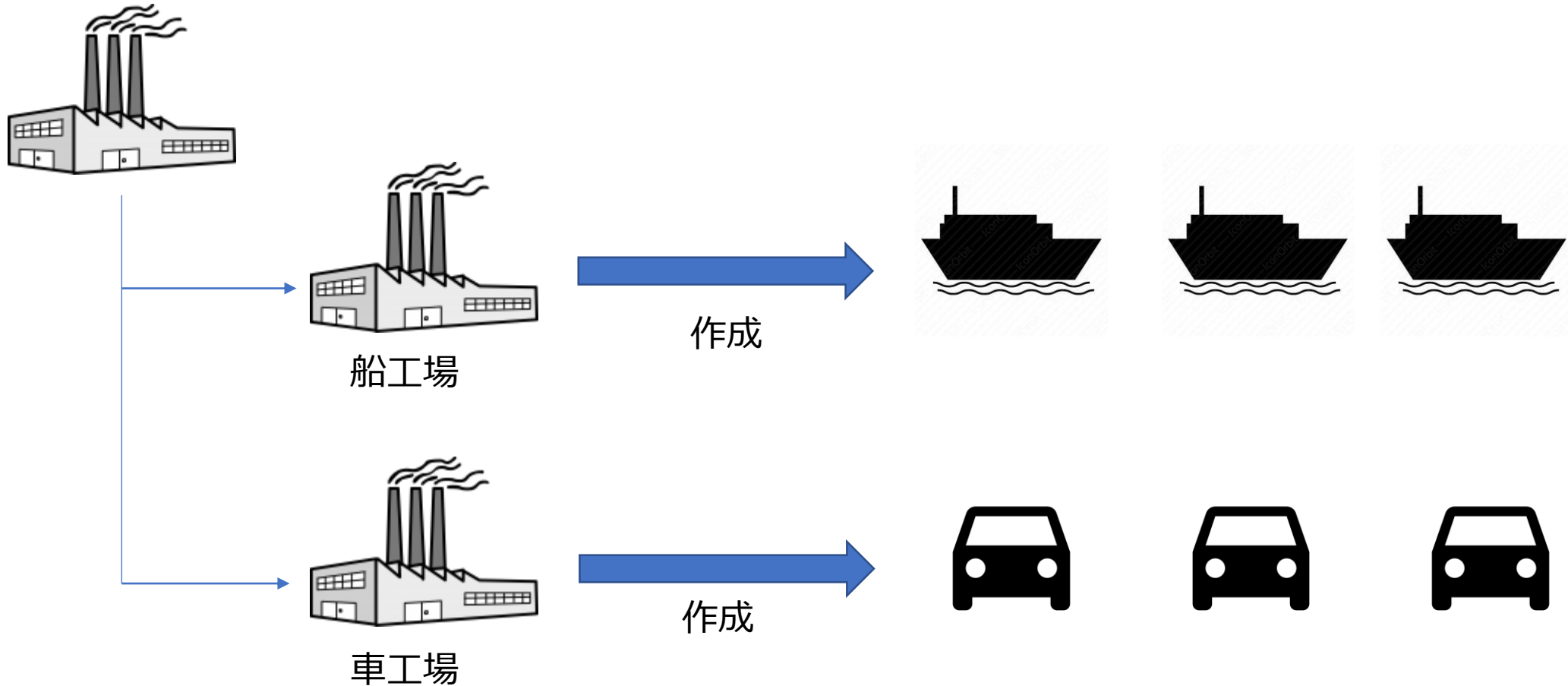


FactoryMethodとは

Factory Methodパターン

工場のように大量の製品を作成するとき。

製品側と工場側で、分けて考えて、工場側でテンプレートを作成する。
テンプレートに応じて、工場を作成して、各工場で製品を作成する



Factory Methodパターン

目的

オブジェクトの生成とオブジェクトの具体的な処理を分離することで、柔軟にオブジェクトを利用でき再利用性を高める

仕組み

インタフェースで処理の骨組みを作りサブクラスを用いてオブジェクトを作成する。

サブクラスに応じて、作成されるオブジェクトのタイプを変える。

構成要素

Product: 作成するオブジェクトの構成要素を定義するインタフェース。

ConcreteProduct: **Product**を具体化したクラス（複数作成する）

Creator: **Product**を生成する処理を定義したインタフェース

ConcreteCreator: **Creator**を具体化した**ConcreteProduct**を作成するクラス

